

# 第4学年〇組 音楽科 学習指導案

小学校・音楽

実施期間 令和〇年〇～〇月  
指導者 〇〇〇 〇〇〇

## 1 題材の構想

せんりつのとくちょうを感じ取ろう（教材曲：「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」）

子どもの姿	題材終了後の 旋律の特徴と曲想との関わりに気付き、旋律や強弱などの違いによる表現方法を様々に試しながら、思いや意図に合った表現で歌ったり演奏したりしている。また、友達と音や音楽、言葉によるコミュニケーションを図って交流し、音楽のよさを共感、共有することで、音楽を学習する楽しさや喜びを実感している。また、学んだことを生活の中でも生かそうとしている。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」の曲想と音楽の構造との関わりなどに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付ける。	「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」の旋律、音色、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。	曲の特徴を捉えて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組む。また、生活の中にある音楽にも進んで取り組み、学んだ音楽経験を生かそうとする。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 <b>【めあて】</b> 題材全体や毎時の導入時に、主となる音楽を形づくっている要素を提示しておく。また、前時の振り返りをする事で旋律に着目し、「旋律の特徴に合った演奏をするためには、どのように表現すればよいか」の課題をもち、めあてへとつなげられるようにする。 <b>【振り返り】</b> 題材を通して、演奏の録画・録音などの記録、振り返りシートや既習事項を活用して振り返る場を設定する。演奏の比較、思いや意図と実際の演奏について聴き合うことで表現のよさや課題に気付き、変容を自覚し、見通しをもって次の学びにつなげられるようにする。 <b>【対話】</b> グループ活動を通してそれぞれの思いや意図を交流、共感する場を設定する。めあてに沿った視点で対話をしながら何度も表現を試し、工夫できるようにする。全体でもそれぞれの表現の工夫と根拠を共有することで、学びを深め、自分の演奏に生かせるようにする。		
子どもの実態 30人	① 曲想は捉えられるが、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気づくことが難しい児童が4割程度いる。 ② リコーダーの運指や発声はできているが、タンギングや呼吸、発音を意識して演奏できる児童は5割程度いる。	① 曲の特徴を手掛かりに、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつことができる児童は8割程度であるが、知識や技能を得たり生かしたりしながら表現を工夫することが難しい児童が5～6人いる。	① 友達の演奏のよさを見つけ、楽しみながら意欲的に音楽活動をする事ができる児童は9割程度いるが、その全ての児童が表現に進んで取り組んだり生活に生かしたりすることは十分ではない。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付いている。 ② 思いや意図に合った表現をするために必要な「タンギングや息の使い方に気をつけて演奏する技能」「呼吸や発音に気をつけて歌う技能」を身に付けて歌ったり演奏したりしている。	① 知識を得たり生かしたりしながら、旋律、音色、強弱、音の重なりなどと曲想との関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもっている。	① 曲想と旋律の特徴との関わりに興味をもち、楽しみながら主体的・協働的に、そして粘り強く題材の歌唱や器楽の学習に取り組もうとしている。また、生活の中にある音楽活動にも進んで関わろうとしている。

指導と評価の計画（5時間取り扱い ●本時4/5）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
歌い方やふき方を工夫しよう。	1	1	○「陽気な船長」と旋律と曲想の関わりに気付く。 ○タンギングや息の使い方に気を付けてリコーダーを演奏する。	【知】①ワークシート 【技】②聴取
		1	○旋律の特徴を生かした音色や奏法などリコーダーの表現を工夫する。	【思】①ワークシート、聴取
		1	○重なり合う音色の響きを感じ取ってリコーダーの二重奏ができるようにする。	【技】②聴取、発言
	2	1	●「ゆかいに歩けば」の旋律の特徴を感じ取る。 ●どのように歌うか、思いや意図をもつ。	【思】①ワークシート、聴取
		1	○特徴を生かした歌い方ができるようにする。 ○グループで工夫した表現を発表する。	【主】①振り返りシート 【知】②聴取、発言

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

2つの旋律の特徴の違いを捉えて表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等	
導入	5	1 「陽気な船長」での学習を振り返り、本時のめあてを共有する。	○「ゆかいに歩けば」を聴いてみよう。 ・前半と後半では旋律の感じが違って、「陽気な船長」と似ているな。	○前時の学習、歌詞や要素を意識して聴くことで、旋律の特徴の違いを自ら気付くようにする。	範唱音源 歌詞カード 学習シート タブレット	
		2つのせんりつのとくちょうのちがいが表せるように歌い方を工夫しよう。				
展開	35	2 旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。	○範唱や伴奏に合わせて、旋律の違いを感じ取りながら歌おう。	○手で音の高低を表しながら歌い、旋律の動きを意識させる。	範唱音源	
		3 旋律の特徴を捉えて表現を工夫する。	2つの旋律の特徴に合った歌い方をどうするか、次のキーワードを選び、考えてみよう。「陽気な船長」の学習を思い出して参考にしよう。 ・歌詞の内容 ・旋律 ・音色 ・強弱 ・息の使い方(スタッカート、スラー) など			
		(1) どのように歌うかについて思いや意図をもつ。  (2) 表現を工夫しながら歌い試す。	・前半は弾んだ感じを表すために息の使い方や発音に気を付けて、後半はのびやかな感じにするために音をつなげて歌おう。 ・録音した演奏は、旋律の違いがあまり感じられないな。もっと強弱やスタッカートを出そう。	○思いや意図を言葉で伝え、歌って試すことを繰り返すよう助言する。 ◎【思】① 旋律の違いを感じ取り、どのように歌いたいかわかりや意図をもっている。	学習シート  タブレット	
4 互いの演奏を共有する。	○友達に工夫したことと演奏を聴いてみよう。 ・弾んだ感じがいいな。	○工夫したことと表現がつながっているか視点を提示する。				
終末	5	5 本時を振り返る。	○課題や変容を次の学習や生活につなげよう。 ・歌詞の内容が歌い方の違いでより表せた。他の曲にも生かしていこう。	○視点を示すことでめあてに対して振り返られるようにする。	振り返りシート タブレット	



# 音楽

## 第4学年0組 音楽科 学習指導案

小学校・音楽

### 1 題材の構想

せんりつのとくちょうを感じ取る。(教材曲:「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」)

題材終了時の児童の姿  
旋律の特徴と曲想との関わりが気付き、旋律や強弱などの違いによる表現方法を様々な角度から、思いや意図に合った表現で歌ったり演奏したりしている。また、友達と音や音楽によるコミュニケーションを図って交流し、音楽のよさを共感、共有することで、音楽を楽しむことや喜びを実感している。また、学んだことを生活の中でも生かそうとしている。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」の曲想と音楽の構造との関わりなどに気付き、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付ける。	「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」の旋律、音色、強弱、音の重なりなどを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと生活の中での音楽にもつながることを意識し、表現の工夫をする。	曲の特徴を捉えて学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組む。また、生活の中での音楽にもつながることを意識し、表現の工夫をする。

### 題材の構想

本時で扱う領域だけでなく、題材で扱う全領域について書く。

ポイント

ポイント

### 題材終了時の児童(生徒)の姿

これからの音楽科の学習や他教科、実生活、将来に、本学習をどのように生かそうとする子どもを育成したいかを書く。(～しようとしている。等)

ポイント

### 思考・判断・表現のポイント

思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を、2~4つ程度選択し記入する。また、知識・技能との関連を図る。

児童の実態	児童の姿
①曲想は捉えられるが、音楽の構造との関わりをとらえられない児童が4割いる。 ②リコーダーの運指や発声はできているが、タンギング、呼吸や発音を意識して演奏できる児童は5割程度である。	①音楽を形づくっている要素をよりどころとして、思いや意図をもつことができる児童は7割程度である。知識や技能を得たり生かしたりしながら表現を工夫することに課題を感じている児童もいる。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付いている。 ②思いや意図に合った表現をするために必要な、「タンギングや息の使い方に気をつけて演奏する技能」、「呼吸や発音に気をつけて歌う技能」を身に付けて歌ったり演奏したりしている。	①旋律、音色、強弱、音の重なりなどを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと生活の中での音楽にもつながることを意識し、表現の工夫をする。	①曲想と旋律の特徴との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。

指導と評価の計画 (5時間取り扱い ●本時4/5)			評価する内容と方法等
1	1	○「陽気な船長」と旋律と曲想の関わりが気付き、 ○タンギングや息の使い方に気付けてリコーダーを演奏する。	【知】①ワークシート 【技】②聴取
	1	○旋律の特徴を生かした音色や奏法などリコーダーの表現を工夫する。	【思】①ワークシート、聴取
	1	○重なり合う音色の響きを感じ取ってリコーダーの二重奏ができるようにする。	【技】②聴取、発音
	2	1 ●「ゆかいに歩けば」の旋律の特徴を感じ取る。 ●どのように歌うか、思いや意図をもつ。 1 ○特徴を生かした歌い方ができるようにする。 ○グループで工夫した表現を発表する。	【思】①ワークシート、聴取 【主】①振り返りシート 【知】②聴取、発音

ポイント

### 評価の計画

評価規準、評価の計画、本時の評価との整合性を図る。

過程	時間	学習活動	備考・ICT機器等
導入	5	1 「陽気な船長」での学習を振り返り、本時のめあてを共有する。 2つのせんりつ	鑑賞音源 歌詞カード 学習シート タブレット
展開	2	2 旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。	鑑賞音源
	3	3 旋律の工夫する	鑑賞音源
	35	(1)どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (2)表現を工夫しながら歌い試す。	①前半は弾んだ感じを表すために息の使い方や発音に気付けて、後半はのびやかな感じにするために音をつなげて滑らかに歌ってみよう。 ②録音した演奏は、旋律の違いがあまり感じられない。もっと強弱やスタッカートを出そう。 ③友達と工夫したことと演奏を聴いてみよう。 ④弾んだ感じがいいな。
終末	5	5 本時を振り返る。	振り返りシート タブレット